

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年10月4日(2007.10.4)

【公開番号】特開2006-70062(P2006-70062A)

【公開日】平成18年3月16日(2006.3.16)

【年通号数】公開・登録公報2006-011

【出願番号】特願2004-251589(P2004-251589)

【国際特許分類】

C 0 9 D	4/02	(2006.01)
C 0 8 J	7/04	(2006.01)
C 0 9 D	5/00	(2006.01)
C 0 9 D	7/06	(2006.01)
C 0 9 D	171/00	(2006.01)
C 0 9 K	3/16	(2006.01)
C 0 8 L	67/00	(2006.01)

【F I】

C 0 9 D	4/02	
C 0 8 J	7/04	C F D
C 0 9 D	5/00	Z
C 0 9 D	7/06	
C 0 9 D	171/00	
C 0 9 K	3/16	1 0 1
C 0 8 L	67:00	

【手続補正書】

【提出日】平成19年8月22日(2007.8.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

光重合開始剤としては、アセトフェノン、ベンゾフェノン、ミヒラーケトン、ベンゾイン、ベンジルメチルケタール、ベンゾイルベンゾエート、アシルオキシムエステル、チオキサンソン類等があげられる。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0054

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0054】

【比較例7】

実施例1の帯電防止性ハードコート塗料で、ポリエーテル変性化合物aをフルオロシリコン(固形分5%、ペインタッド7:東レ・ダウコーニング・シリコーン社)1部に変更した以外は実施例1と同様にして、比較例7の帯電防止性ハードコート塗料、帯電防止性ハードコート膜、および帯電防止性ハードコートフィルム(成形体)を作製した。